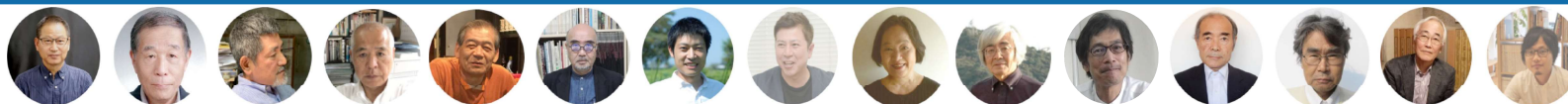


JIA 熊本地域会会員によるリモート作品展



目次

- 2 JIA熊本地域会長挨拶 ……堀田 実
- 2 JIA熊本地域会の取り組み ……林田 直樹
- 会員の活動紹介
- 3 上村 清次 (Seiji Uemura) の活動紹介
- 4 梅田 彰 (Akira Umeda) の活動紹介
- 5 柴田 真秀 (Masahide Shibata) の活動紹介
- 6 丹伊田 穰 (Yutaka Nida) の活動紹介
- 7 林田 直樹 (Naoki Hayashida) の活動紹介
- 8 原田 展幸 (Nobuyuki Harada) の活動紹介
- 9 東大森 裕子 (Hiroko Higashioomori) の活動紹介
- 10 古川 保 (Tamotsu Furukawa) の活動紹介
- 11 堀田 実 (Minoru Horita) の活動紹介
- 12 松下 隆太 (Ryouta Matsushita) の活動紹介
- 13 森下 修 (Osamu Morishita) の活動紹介
- 14 吉武 龍輝 (Ryuki Yoshitake) の活動紹介
- 15 吉永 啓 (Kei Yoshinaga) の活動紹介



例会の様子

JIA熊本地域会長挨拶



堀田 実 (Minoru Horita)

昨年2020年は私をふくめ多くのひとたちの常識や日常生活、幸せまでも大きく覆す1年となってしまいました。新型コロナウイルスという疫病の影響は、なお今日まで影響を与え続け衰える気配もありません。東京オリンピックの延期をはじめ経済や医療をはじめとした社会へのネガティブなダメージは計り知れないものです。

熊本県においても、阿蘇へのルートが開通し熊本地震の復興に一定の目処がついたかと思うのもつかの間、人吉・球磨・芦北等を襲った7月の豪雨水害はふたたび甚大な傷跡をのこしました。

私たち公益社団法人日本建築家協会九州支部熊本地域会としても、多くの会員が被災者のかたからの被災相談に積極的に協力する一方で、昨年1年は予定していた地域会活動をすべて中止、延期とせざるを得ず、忸怩たるおもいで活動再開が出来る日をまっています。しかし、状況は一向に好転せず今後の活動も不透明なまま年度を終えようとしております。このようななか、なにか建築家協会としてできる、協会らしい活動ができないものかという声があがり、林田さんの発案でこのリモート作品集をみなさまにお届けすることとなりました。発案、企画からとりまとめまでほとんどを林田さんに担当していただき、この場を借りて深く感謝申し上げる次第です。

2021年がどのような年になるかはまだまだ見通せません。しかしながら、私たちは今回のように、まず出来ることからひとつひとつしっかりやっていくことだと改めて認識しております。

これからもJIA熊本地域会の活動を見守っていただきご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

JIA熊本地域会の取り組み

日本建築家協会（JIA）とは、建築家が集う公益社団法人です。日本の各エリア毎に支部組織があり、各県毎に地域会があります。私達熊本地域会は、総勢15名の組織で主な活動は毎月第4木曜日に全員参加での例会を始め、CPD学習会、建築家作品展、住宅賞の主催、ライティングパーティーを行っております。

コロナ渦で例会以外の上記活動のほとんどが中止となり、建築家が集う組織としての活動表現の場がなくなる事を危惧し、データ媒体で行政や教育機関、同業設計事務所、毎年作品展やライティングパーティーに参加協力いただいている方に情報発信をしようと試みたのが、この「リモート作品展」になります。

熊本地域会に所属している会員が、日々どのような活動を行なっているのか見て頂き、JIAに加入してみたいという方が出てきてくればという思いで作成しております。

建築家として、私達と一緒に知識や技術の研鑽をしていきたいという方が出てきてくれる事を願っております。

林田直樹 (Naoki Hayashida)



建築家
上村 清次(ウヱムラ セイジ)

勤務先
上村設計工房
〒866-0021
八代市郡築四番町48-2
TEL:0965-37-3100
FAX0965-37-0804
URL:https://www.uemura.design
e-mail: info@uemura.design

経歴
1958年 八代市生まれ
1977年 県立八代高校卒業
1981年 熊本工業大学建築学科卒業
1982年-1996年 設計事務所勤務
1997年 上村設計工房設立

受賞歴
2005年 くまもと景観賞「地域景観賞」受賞
2009年 くまもとアートポリス推進賞受賞

■ 溪流釣(フライフィッシング)が趣味で3月~9月は奥山通いです。旅行も好きで海外研修視察で刺激を受けています。妻との温泉ドライブは週末の日課、最近はそれにトレーニングがセットとなり運動不足を補っています。音楽と芸術をこよなく愛し日本文化に拘る趣味人です。



2019年ライティングパーティー出品作



道の駅 東陽(東陽交流センターせせらぎ 菜摘館) 観光案内所・公衆トイレ



観光案内所

(令和3年3月末に道の駅としてリフレッシュオープン)
東陽町にあるこの施設は天然温泉、野菜レストラン及び地元農家直売の野菜販売所等がある複合施設です。



情報コーナー



男子便所



多目的便所



女子便所



おむつ替えコーナー



授乳室



建築家
梅田 彰(ウメダ アキラ)

勤務先
有限会社FU設計
〒862-0962
熊本市南区田迎5-7-6
TEL:096-214-8425
FAX:096-214-8425
URL:http://fuarchitect.com
Mail: at-ume@kii.bbq.jp

経歴
1955年 八代市生まれ
1977年 九州東海大学工学部
建設工学科卒業
1977年-1990年 設計事務所勤務
1991年 有限会社FU設計共同
主催
1989-2013年 東海大学非常勤
講師
2013年-熊本県立大学非常勤
講師

受賞歴
2000年・2004年 JIA 熊本住宅賞
選考委員賞
2005年 真の日本の住まい提案競
技 文部大臣奨励賞
2006年 真の日本の住まい提案競
技 林野庁長官賞
2004年・2011年・2018年 アートポ
リス推進賞選奨



外遊びにはまっています。



PULAM 工房を持つ家
敷地面積: 約89.8坪
構造規模: 木造平屋建
床面積: 約34.2坪

玄関の脇にお店のカウンターと小さな木の窓が並ぶ平屋の切妻屋根の家。伝統構法で組まれた架構がぐらぐらに暮らしをつつみ、小さな家を広々と見せてくれる。玄関からの2方向の廊下や居間から延びる土庇のテラスなど、行き止まりの無い回遊性のある空間を、子供たちは走り回っている。造る過程に参加してもらうことは、家の構造を理解し、住み続けるための仕組みを伝えるため。



坪井の家 une petite maison
敷地面積: 約39.4坪
構造規模: 木造2階建
床面積: 約28.7坪

60代夫婦の終の住処として計画した小さな家。間口3間、奥行き6間に盛り込んだ玄関ポーチを兼ねた土間の物干しに外物置、内部はLDKに寝室と水回り、それに、屋根裏を生かした2階の書斎。LDKと寝室の間の格子戸や書斎の障子を開け放つと、のびやかな木組みの空間が、トップライトからの光の下に広がる。これが、これからの暮らしを不自由なく、快適に愉しく過ごすための仕掛け。





建築家
柴田 真秀(シバタ マサヒコ)

勤務先
(有)UL設計室
〒862-0924
熊本市中央区帯山1-21-44-103号n
TEL:096-387-5688
FAX:096-387-6667
URL:<http://ulsekkei.com>
mail:m-shiba@fine.ocn.ne.jp

経歴
1958年 熊本市生まれ
1982年 法政大学工学部建築
築学科卒業
1984年-1987年 宮坂建築事務
所勤務
1987年-1992年 (有)アーバン
ランドスケープ勤務
1992年 UL設計室設立

賞歴

2011年
第17回くまもとアートポリス
推進賞選賞
第9回JIA熊本住宅賞選考委員賞
田園住宅

2004年
第10回くまもとアートポリス推進賞
第6回JIA熊本住宅賞住宅賞
田迎の家

2000年
第4回JIA熊本住宅賞奨励賞





建築家

丹伊田 穰(ニイダ ユタカ)

勤務先

有限会社 ロゴス設計同人
〒861-8035
熊本市東区御領5丁目6-22
TEL:096-380-4511
FAX:096-389-1263
Mail:y-niida@dc4.so-net.ne.jp

経歴

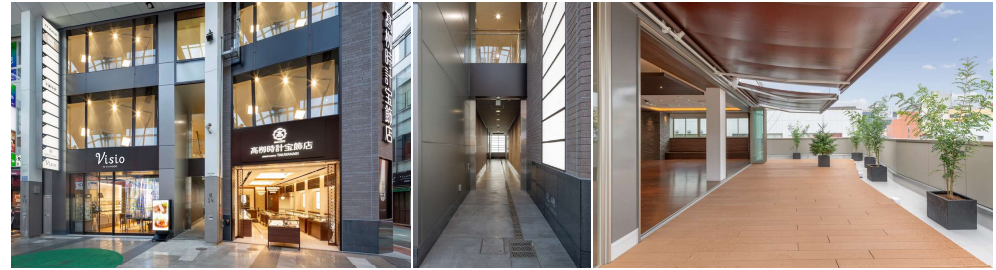
1942年 満州生まれ
1965年 熊本大学建築学科卒業
1965年-1980年
有限会社 野中建築事務所勤務
1980年 (有)ロゴス設計同人設立
1998年KAP富岡園地トイレコンパ
優秀賞
1999年いつき村役場公開コンパ
優秀賞
1999年上通アーケード第11回
熊本景観奨励賞
1999年清和高原天文台レストラン
くまもと県産材振興会賞
2000年 清和高原天文台キャピ
群+レストラン星座の森
日本建築士連合会優秀賞
2000年文林堂本店第12回熊本県
景観さわやかまちかど賞
~2021年(公社)熊本県建築士会
副会長



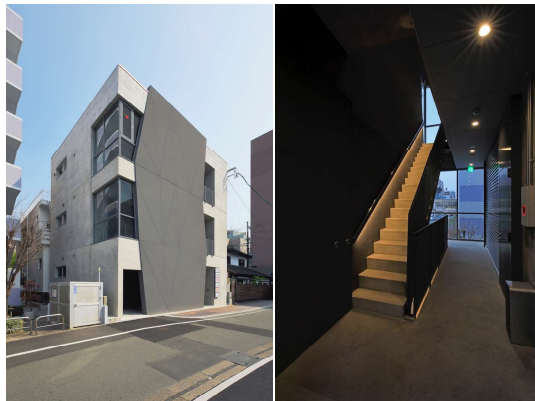
愛車遍歴



2018年古荘本店29年館



2018年下通TTビル



2020年上通熊八長屋



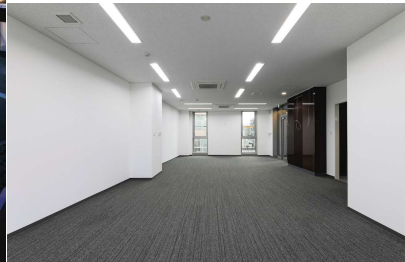
2018年M邸



1998年上通アーケード



2020年Y邸



2019年エベレスト南坪井



2020年原泉荘・備於齋災害復旧



建築家
林田 直樹(ハヤシダ ナオキ)

勤務先

林田直樹建築デザイン事務所
〒861-4125
熊本市南区奥古閑町1747-2
TEL:096-342-6024
FAX:096-342-6025
URL:<http://nh-hayashida.com>
Maik:naoki@nh-hayashida.com

経歴

1984年 熊本市生まれ
2007年 熊本大学工学部環境システム工学科卒業
2007年~2015年 住友林業株式会社勤務
2015年~2016年 ばん設計小村事務所勤務
2016年 林田直樹建築デザイン事務所設立
2016年 崇城大学非常勤講師



■切妻と土間の家 2019年竣工 規模:木造平屋144.08㎡ 建築地:熊本県熊本市南区
田園風景広がる敷地に建つ建物。作業空間兼ギャラリーである土間を持ち、切り妻の架構は木の線材を多用して木の量感ある空間となっている。



■CLT塀の家 2020年竣工 規模:木造2F建て 211.47㎡ 建築地:熊本県熊本市中央区
密集した住宅地に建つ建物。浮遊したCLTの塀により近隣に圧迫感を与えないようにプライベートな庭を作った。



子供3人の5人家族です



■KIKUKAWA 2020年竣工 規模:鉄骨造2F建て 1990㎡ 建築地:熊本県熊本市北区
地震により被災した店舗の建て替え工事 売り場のレイアウトを邪魔しないような箱型のプランで構成し、売り場に面する柱径を細くする事でフレキシブルな空間となっている。





建築家
原田 展幸(ハラダ ノブユキ)

勤務先

株式会社ライフジャム一級建築士事務所
〒860-0842
熊本市中央区南千反畑町11-8-2F
TEL.096-342-4352
FAX.096-342-4353
URL:https://lifejam.co.jp
Mail:info@lifejam.co.jp

経歴

1973年 熊本県荒尾市生まれ
1996年 崇城大学建築学科卒業
1996年 株式会社田中建築設計事務所入所
2004年 ライフジャム一級建築士事務所設立
2012年 法人化

JIA活動からつながった災害復興活動

きっかけ

JIA熊本地域会の会長に就任した2週間後に熊本地震を経験しました。入会して日が浅く、会全体のことを把握できないのに災害対応なんて自分のできることとプレッシャーを感じつつ、とにかく目の前の一歩を一生懸命やろうと覚悟をもって行動していたことを思い出します。

発災直後、JIA東北支部が九州支部に緊急危険度判定調査の出前レクチャーを開いてくれました。私は熊本の対応に追われていたので参加できませんでしたが、後に依頼された嘉島町の調査に大いに役立ち、全国のJIA会員と九州支部会員の協力で迅速に対応することが出来ました。7月から私も調査に参加し、御船町、大津町を含む計3町の調査を経験しました。

東北支部からの支援には本当に感謝です。9月には復興に向けた支援として意見交換会を開いてくれました。恥ずかしながらそこで初めて災害公営住宅というものを知り、これぞ建築家が担う役割だと感じました。買取型というスキームがあることを知ったのもこの頃です。

東北視察からの西原村災害公営住宅

震災前、地元の建築業界を盛り上げるためkulosという同世代建築家グループをつくりました。その目的からも復興事業はkulosで取り組みたいと考え、2017年5月、JIA東北支部の協力を頂き、メンバーと共に東北の災害公営住宅をはじめとする復興事例を視察させて頂きました。コミュニティ形成やプライバシー確保、UDに関する考え方など、様々なことを学ばせて頂きました。



石巻市北上にっこり団地 建設現場視察

この経験は2017年8月に公募された西原村買取型災害公営住宅につながります。プロポーザルで選定され、2団地計57戸の戸建て住宅を無事完成することができました。建築家9名の取り組みは意見をまとめるのに一苦労でしたが、チーム一丸となり建築をつくる貴重な経験をさせて頂きました。



土をならすkulosメンバー

息子と友達も動員



西原村買取型災害公営住宅 山西団地

この経験を活かしkulosはチームを分散。後に各町村から公募されるプロポーザルにライバルとして参加しました。次に3町村で関わらせて頂いた災害公営住宅をご紹介します。

南阿蘇村・御船町・益城町の災害公営住宅

南阿蘇村 長橋西部・下西原第2団地

玄関が向き合う住戸間に、団地コミュニティをつなぐ間守土間(まもりどま)と称した間口1.5間の土間を配しました。間守土間は雨や降灰から暮らしを守り、共有の居場所となることで見守りの環境となります。



間守土間をつなぐコミュニティ

配置は、住戸を千鳥に配することで南北の住戸間隔を保ち、プライバシーに配慮した計画としました。間守土間を介して小径を設けることで団地全体が繋がります。緑豊かな外構計画は、生活に豊かさをもたらすとともに南阿蘇村の風景に溶け込みます。



長橋西部団地(木造長屋 5棟10戸)



下西原第2団地(木造長屋 8棟16戸)

南阿蘇村は山腹の崩壊や大橋の崩落など、今もその傷跡を残しつつ再建へと進んでいます。決して忘れることができない記憶から、少しでも住民の心を癒し、あんしん、あたたかさ、ふれあいに満ちた住まいの再建を目指しました。

御船町 上高野団地

計画地は小高い丘の上に位置し、周囲には集落があります。隣地には熊本地震の影響で解体された神社の敷地があり、計画地一帯はもともと神社の杜でした。日本の集落の心象風景には美しい山や杜が見られ、そこに通じる道の両側に家並みが配されています。まさに周辺集落の道は計画地(神社・杜)につながっており、かつてこの地にあった杜を再現することにより地域に馴染む風景とこの場所ならではの暮らしを実現することができると考え、方向性のない方形屋根を道に対して僅かにずらしながら配し、杜の復元を図りました。



上高野団地(木造戸建て 13戸)

住戸は玄関位置を反転できる北入り南入り可能な間取りにし、玄関を寄せた2・3戸単位の見守りの関係をつくりました。畳スペースには板間を併設し、子育て世帯や老々介護など、様々な生活事情に対応できるよう配慮しました。



様々な生活事情に対応できる間取り

災害公営住宅としての役割を果たした後は、払下げなどの問題を抱えるケースも考えられます。子育て世帯や移住者の住まいとしても長く愛されるよう、地域に根差した建築を考えました。

益城町 市ノ後第2団地

益城町の民家にみられる大きな玄関土間と連続する客間、奥(リビングや寝室)への段階的なゾーン形成を間取りに取り入れることで、馴染み深い震災前の暮らしの継承を目指しました。閉鎖的になりがちな共用廊下側に掃出し窓を設け、土間越しに客間を配することで、住民相互の気配を感じることが出来ます。

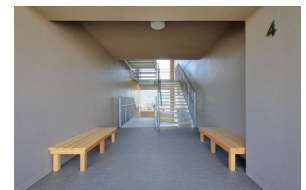


市ノ後第2団地(RC造5階建て 40戸)



客間から土間越しに共用部をみる

共用階段は勾配を緩く設定することで負担を軽くし、エレベーターを利用しなくても比較的楽に移動できるように配慮しました。階段室にはコミュニケーションの場となるようベンチを設け、地域の生活動線(道)や広場へとつながります。孤立しがちなマンションタイプの公営住宅に対して、地域とつながり見守りができる公営住宅を目指しました。



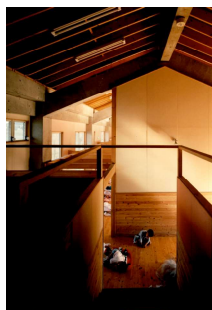
共用部に設けたベンチ



建築家
東大森 裕子
(ヒガシオオモリ ヒロコ)

勤務先
DEN
〒860-0073
熊本市西区島崎7-25-19
TEL:096-326-2652
FAX:096-326-2655
e-mail arhiroko@mms.bbq.jp

経歴
1952年 熊本市生まれ
1974年 長崎造船大学
建築学科卒業
1974年-1977年 中川久建築設
建築設計事務勤務
1980年 東大森裕子建築設計
事務所設立
東大森裕子時空間
設計室
東大森裕子時空間
設計室-V
を経て現在に至る

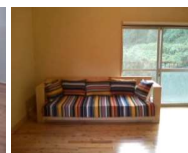


喜育保育園
周りを畑に囲まれた中に建つこの保育園は
実にのびのびと子供たちを育てている。
昼寝の様子も然り。
昼食もビッフェ形式で子供たちは好きなものを
好きなだけ食べる。
そんな子供たちには雨露が凌げる場所があれば
いいと思って作った。
建築設計資料 51 保育園・幼稚園2 掲載
建築設計資料集成【福祉・医療】掲載

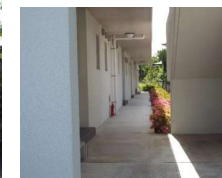


成功の象徴としての家
日本建築士連合会 会員作品展優秀賞
JIA熊本住宅賞受賞 日経アーキテクチャ掲載

わたしの為の家



遊び4題
■ ソファー2題
■ ロケット
■ 灯り
■ ストープ



2階建て8室のアパート
その先に何が？
ミコノ島の路地を思っで...

内装ではなく中はチョット
変わっています。何がって？
中に入らねば判らない。



築36年の自邸に増設。小屋？
住宅建築 2000年6月号掲載



通りの建築

熊本市の中心部 上通 水道町に建つ3つの小さな商業ビルと山鹿日輪寺のバス亭
建設当時は上通、手取本町、国道3号線に囲まれた裏路地の風情を持つ一帯であった。
商業ビルという性格上各店舗への入り口は小さな通りからの分かれ道という意識で設計した。
又、2階店舗も通りと一体化できるよう4階建てビルの1階部分の床面は通りより60cm程下げ
2階へのアプローチを短く感じるようにしている。



最新作 アクセサリーショップ NAP
住宅街の小さなビルの駐車場奥、小さな
真珠のお店。作り手が作りたいと思ったもの
だけが が並んでいます。



建築家
古川 保(フルカワ タモツ)

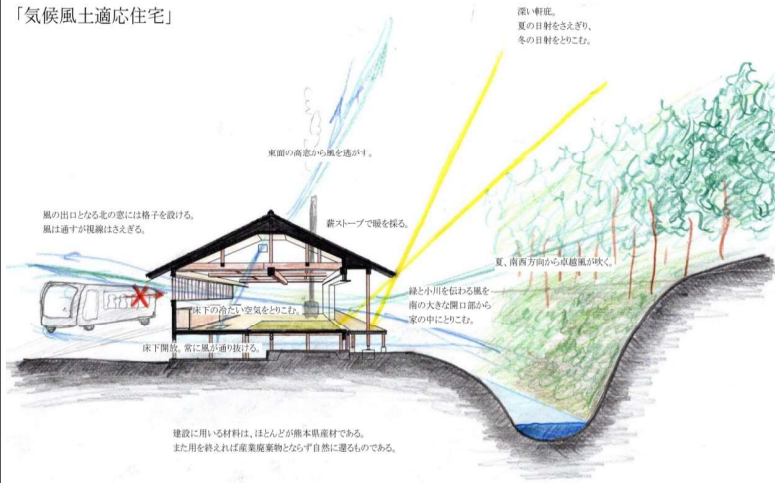
勤務先
すまい塾古川設計室(有)
〒861-4115
熊本市南区川尻4丁目10-5
TEL/FAX: 096-357-0973
URL: <http://www.sumai-f.com>
Mail: sumai-hurukawa@basil.ocn.ne.jp

経歴
1947 佐賀県武雄市生まれ
1971 熊本大学工学部
土木工学科 卒業
1992 すまい塾古川設計室(有)
設立
1993 「川尻六工匠」を結成

別荘設計中!!
<設計概要>
敷地面積: 4㎡
延べ面積: 0.77㎡
最高高さ: 1.36m
基礎: 御影石
外壁: 杉角材(赤身)
屋根: ガルバリウム鋼板
建築費: 260万/坪
建築地: 熊本市戸島霊園



「気候風土適応住宅」



西に有明海があり、夏期には南西からの卓越風が吹く。敷地の南の小高い丘には緑が茂り、その足元には小川が流れている。緑と川からの涼しい風が敷地を抜ける。この風を南の大きな引き込み開口部からとり入れ、北や東の窓へと逃がす。北側がバス通りとなっているため、北の窓には面格子を設置する。面格子があればバスの移動中に家の中までは覗き込めない。

丘と小川の影響もあり、湿気が多く白蟻が多い敷地でもある。そこで、床下を開放するため、伝統構法の石場建てを選んだ。主な柱は165mm×165mmで、4方差しの柱は180mm×180mmにした。基礎は水平だけをダボで拘束し、上下はフリーにしている。

木でフレームを造り、目の前の土と竹と藁と砂で壁をつくる。土壁は外装材であり、内装材であり、吸湿材であり、構造材である。少しの欠点といえば断熱性能が低いであるが、それは別の断熱材で補えばよい。天井と床の断熱材には構造材の廃材である鮑屑を用いた。

伝統構法は特別に耐震性が優れているわけではない。断熱性能が優位でもない、遮音性能が高いわけでもない、でも、日本は資源が少ないといふけれど、木や土や竹や藁やイグサや水を建築資源と考えれば日本は資源大国だ。そしてそれらは役目が終われば土に戻るか、煙となり、また山の木の肥料となる。



建築家
堀田 実(ホリタ ミノル)

勤務先
有限会社堀田総合設計
〒862-0950
熊本市中央区水前寺4-54-10
アーバンクロス2F
TEL:096-387-4406
FAX:096-387-4412
URL:<https://horitaoffice.com>
✉:info@horitaoffice.com

経歴
1964年 熊本県八代市生まれ
1994年 会社設立
2012年 熊本県立大非常勤講師
2020年 JIA九州支部熊本地域会長

自己紹介
わたしの事務所は「良質な建築を提供することを通じて、より安全で心地よい社会環境の実現に寄与する」ことを社是としております。
また、「未来を担う子どもたちの育成」が会社及び私の重要なテーマとしております。
建築系の高校生や専門学校生、大学生の実習受け入れのほか、県内の児童養護施設への支援活動などを通じて実現しております。
昨年は、「道の駅阿蘇」「道の駅鹿北」「菊池市役所七城支所」「熊本市動植物園」「第一高校旧改修」「熊本市有形文化財四時軒」など多くの興味深いプロジェクトを担当させていただきました。工事着工前、工事中のプロジェクトがおおいためここではご紹介しておりませんが、いずれあらためて作品展でご紹介させていただきたいと考えております。
当事務所は2019年10月に弊社25周年を迎えました。「建築ソリューション」を合い言葉に、これからも価値ある建築設計事務所としてお役に立てるように努力を重ねてまいります。



【掲載作品】「わたしの街角の家コンペティション」最優秀賞、光の森交番(落成式風景)、菊水小中一貫アートポリス参加提案、熊本県建築住宅センター社屋提案、階段の家スケッチ



道の駅阿蘇(竣工)



熊本市動植物園(設計終了)



道の駅鹿北(工事中)



有形文化財四時軒(工事中)



建築家
松下隆太(マツシタ リュウタ)

勤務先
(有)来夢建築設計事務所
〒862-0954
熊本市中央区神水2丁目19-23
TEL: 096-201-6685
FAX: 096-213-1280
Mail: raimu@izu. bbic. jp

経歴
1950年 鹿児島県生まれ
1975年 九州大学工学研究科
修士課程修了
1975～1982年(株)団建築事務所
勤務
1982年～1984年(株)連合建築設計
事務所 勤務
1984年 来夢建築設計事務所設
立
1994年～(有)来夢建築設計事
務所へ組織変更。



休日はよく妻とドライブに
出かけます。
伝建地区、社寺、城等が
多いです。
(最近はコロナの為、あまり
行けてませんが。)



中村医院(1994)+CT室増築(2004)+処置室増築(2018)



永芳医院(2010)



ニュー天草病院(2016) メイ・来夢設計共同企業体



「いろは」保育園(2018)



富岡保育園(1989)+鎮道寺本堂改修(1993)+富岡保育園多目的室(2005)+鎮道寺庫裏改修(2018)



未指定文化財 若城金物店地震被害復旧(2019)



未指定文化財 早川倉庫地震被害復旧(2020)



小規模多機能ホーム「つどい」(2012)+ サービス付き有料老人ホーム「つどい」(2015)





建築家

森下 修(モリタ オサム)

勤務先

(有)ひとちいき計画ネットワーク
〒861-3102
熊本県上益城郡嘉島町下六嘉
3199
TEL・FAX 096-237-2567
Mail:hitoiki-mo@olive.plala.or.jp

経歴

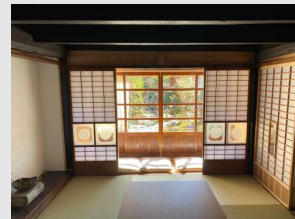
1957年 嘉島町生まれ
1981年 熊本工業大学
工学部 建築学科卒業
1983年 熊本大学大学院
工学研究科
修士課程修了
1983年-1989年
(有)ロゴス設計同人
1989年-1995年
(有)パン設計森下事務所
1995年-2003年
(株)高木富士川計画
事務所
2003年(有)ひとちいき計画
ネットワーク
1996年 崇城大学非常勤講師
(地域計画設計)



施設名:
養護老人ホーム 悠和の里
有料老人ホーム グリーンハートおぐに
所在地: 熊本県阿蘇郡小国町
構造: RC造一部木造
規模: 地上1階
延床面積2441.31㎡



施設名:
NIPPONIA 甲佐 疏水の郷
所在地: 熊本県上益城郡甲佐町
用途: 簡易宿泊所
構造: 木造(リノベーション、増築)
規模: 母屋 延床面積193.22㎡
離れ 延床面積 53.38㎡





建築家
吉武 龍輝(ヨシタケ リュウキ)

勤務先
株式会社 吉武建築設計室
〒860-0066
熊本市中央区大江3-4-13
TEL 096-372-4175
携帯 090-8761-0096
FAX 096-363-7276
Mail y-arc@bg8.so-net.ne.jp

経歴
1942 山鹿市生まれ
1965 明治大学工学部建築学科卒業
1965-75 榎日成建築設計事務所勤務
<主な担当作品>
大船渡市立盛小学校(岩手県)
学校法人北里大学病院(神奈川県)
学校法人北里大学医学部(神奈川県)
1975 榎吉武建築設計室設立
<所属団体>
(公社)日本建築家協会(JIA)
1990-91 九州支部副支部長
1992 本部署理事
2007-08 本部署理事
(公社)熊本建築士会

受賞・コンペ当選
1978 鹿北町 第三小学校 指名型コンペ - 特定 -
1983 鹿北町庁舎 指名型コンペ - 特定 -
1990 菊鹿町庁舎 指名型コンペ - 特定 -
1992 鹿央町 千田小学校 指名型コンペ - 特定 -
1995 鹿北町 鹿北中学校屋内運動場 指名型コンペ - 特定 -
2002 鹿央町 統合保育所 指名型コンペ - 特定 -
2003 熊本県木材利用大型施設コンクール - (まもと県産材振興会賞 (鹿央町立統合保育所)) -
2004 長崎県福島町国民健康保険診療所 指名型コンペ - 特定 -
2009 山鹿小・川辺小 統合小学校 公募型プロポーザル - 優秀賞 -
2010 鹿北地区3小学校の統合に伴う 小学校建設に係る設計業務 標準型プロポーザル - 佳作 -
2011 和水町立三加和区域小併設型校舎 設計業務 公募型プロポーザル - 優秀賞 -
2012 和水町立菊水小・中学校設計業務 公募型プロポーザル - 佳作 -
2014 公益社団法人熊本県医師会館建設 設計業務 公募型プロポーザル - 優秀賞 -
2018 熊本県木材利用大型施設コンクール - 熊本県賞(グループホーム聖母の丘) -



事務所 外観



鹿央保育園



模型



鹿央保育園 外廊下



鹿央保育園 ランチルーム



鹿央保育園 多目的室



H邸 外観



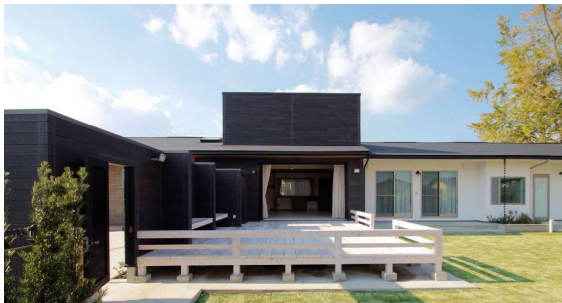
H邸 アプローチ



O邸 玄関



O邸 和室



O-HOUSE デッキテラス



O-HOUSE 外観



I邸 アプローチ



M邸 外観



鹿北町庁舎 外観



鹿北町庁舎 町民ホール



菊鹿町庁舎 外観



菊鹿町庁舎 町民ホール



建築家
吉永 啓(ヨシナガ ケイ)

勤務先
(株)KAYアーキテツ
〒867-0043
熊本県水俣市大黒町1-1-23
TEL : 0966-83-8024
FAX : 0966-83-8025
URL : http://www.kay-architects.com/
architects.com/
Mail : info@kay-architects.com

経歴
1985年 熊本県水俣市生まれ
2005年 国立八代工業高等専門学校校土木建築工学科卒業
2005年 木村建設(株)勤務
2006年-2017年 (株)モードフロントアーク勤務
2017年 KAY建築設計事務所設立
2019年 (株)KAYアーキテツに改組

受賞歴
2017年 くまもとアートポリス 甲佐町住まの復興拠点整備設計に係る公募型プロポーザル佳作(ワークステーション・モーフロントアーク・KAY設計共同体として)
2018年 水俣市新庁舎建設基本・実施設計業務公募型プロポーザル最優秀(久米・KAY共同企業体として)

もくもくほいくえん

設計 : KAYアーキテツ / MORアーキテツ



保育室とホールで園庭を囲む。正面に大きな図書館。連絡する方柱がリズムカルに軒を支える。ロフトの余剰スペースは空調室外機置場として活用。

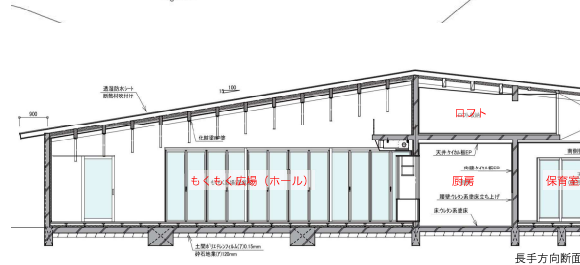
園庭を囲む保育園

合志市(旧西合志町)に建つ企業主導型保育園。施主の事業の軸は林業である。要望の第一は木をふんだんに使った園舎。ただ、漠然とではあるがコンクリート等もしっかりつくりたいとの希望もあった。また、敷地が幹線道路に面すること、防犯、保育園を騒音と捉えてしまうネガティブな目線等を考慮して境界線はしっかりと区切りたいたい意向だった。

ただ高い塀で仕切るのでは、内からも外からも圧迫感がない。地域の中いかに溶け込み、かつ、開放的な園舎ができればいいかと考え、提案したのは塀の代わりに建物で園庭を囲む中庭型の園舎であった。平屋でかつ園庭も確保でき、先生たちの見守りなど様々な要件に対応し得ると考えた。平屋としたのは避難上、防火上有利なためである。

周辺に配慮し全体高さを抑えるために、各部屋を園児に合わせた天井高とし、その寸法を軒高に反映し、らせん状に上っていく屋根形状とした。らせん状の屋根は、見上げた空と屋根の関係が変化し、中庭の見え方に変化を与えている。ホールにより軒高が高くなる箇所はロフトによる収納の拡充を図った。結果、隣接する住宅よりも最高の高さは低い。

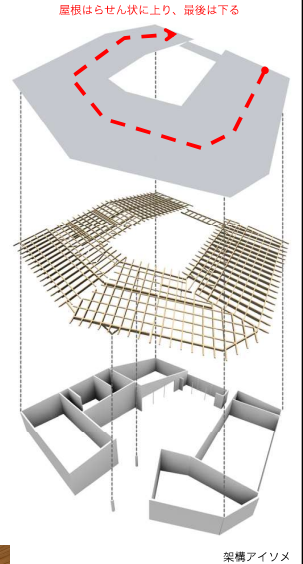
内部は、深い庇により窓を開放でき、建物外周側の窓と合わせ2面採光を確保し、どの部屋も明るく風通しのよい空間となるよう計画している。床高を抑えることで、道路からと園児の目線を近づけ、ピロティや窓を通して内部の活動を見えるようにすることで、地域とのコミュニケーションを図っている。ゆくゆくはピロティにベンチを置いて地域の人のくつろぎスペースとする等、地域とつながる場となっていけばと考えている。北側のスペースは通路であるが、一番日当たりのいい場所なので、寝転がって絵本を読めるよう量を敷き、座れる棚を設置し小さな図書館としている。少々行儀が悪いかもしれないが、それを許容する運営方針のおかげで建物全体の計画が成り立っている。



南側市道より。ピロティから中の様子が見える。V字の木柱で屋根架構を支持。足元は高基礎で耐久性に配慮。

構造計画

基礎はべた基礎による直接基礎。
柱・壁は壁式鉄筋コンクリート造とし水平力を負担させ、その上に木造の架構を掛け屋根構造を形成。スパンの大きな梁は鉄筋プレースを用いた張弦梁とし、軒は方柱により持ち出している。巾の広い開口部は鉄骨柱によりRC壁梁及び屋根架構を支持。
RC部は壁式とし、造材適所の部材を用いることでコスト削減を図っている。



防火・避難計画

壁を鉄筋コンクリートとすることで、準耐火建築物(外壁耐火)を実現している。平屋としたことで内装制限は除外。内外装材に木材を多用するために、その他細かな事項の検証を進め、仕様規定の中で計画を実現させた。屋外は、接道していない2面に避難通路を設け、避難上も閉鎖的とならないよう中庭から外部への避難口は3か所とする等、2方向以上の避難経路を確保し万一の事態に備えている。



保育室。可動間仕切りにより園児数に対応。床は桧板、天井は杉板(地場産材)。



ホール。張弦梁にて屋根架構を支持。屋根の大開口は鉄骨柱により支持。

建物概要

- 所在地 熊本県合志市御代志
- 主要用途 企業主導型保育園
- 建主 (有)大川林業
- 設計・監理 建築・監理 KAYアーキテツ MORアーキテツ
- 構造 yAt構造設計事務所
- 設備 グリーン設計
- 施工 速永工務店
- 規模
 - 敷地面積 825.92㎡
 - 建築面積 486.10㎡
 - 延床面積 441.37㎡
 - 建蔽率 58.86% (許容: 60%)
 - 容積率 53.44% (許容: 200%)
 - 階数 1階
- 構造
 - 主要構造 鉄筋コンクリート造
 - 一部木造・鉄骨造
 - 杭・基礎 べた基礎(直接基礎)